

子ども・子育て会議に向けての論点課題について ～ 保育の必要性の認定について等 ～

平成 25 年 7 月 26 日
(公社)全国私立保育園連盟
副会長 橘原 淳信

前回の子ども・子育て会議(第4回)資料2「保育の必要性の認定について」(H25.7.5)の
「2.「区分」「保育必要量」について」(2)論点③現行制度との関係をどう整理していくか
について

○「長時間」「短時間」の設定とそれに伴う保育利用料の単価等の検討は、今後の予定
になると承知している。また、現段階で、保育認定の仕組みも詰めていかなければ事
業計画の策定を含めて地方自治体の準備に支障を来し、逆に公定価格の議論にも入っ
ていけないと理解される。その上で、仮に「短時間」の認定が増加することが、施設
運営に支障を来たすような制度を構築すべきではないと考えることは指摘しておき
たい。なお、参議院での附帯決議の5項目にある「短時間」の認定が施設運営に支障
を来さないようにすべきという趣旨のもとに、今後、公定価格を議論する際には検討
される必要があることも念のため申し添えたい。

前回の子ども・子育て会議(第4回)資料2「保育の必要性の認定について」(H25.7.5)の
「3.「優先利用」について」(2)論点○障害児の取扱いについて、どのように考えるか。

○ 障害児、発達支援等、とくに支援を必要としている子どもたちについては、家庭支
援も視野に入れ、特段の受け入れに対する仕組みを構築する必要がある。

前回の子ども・子育て会議(第4回)別添「調査票のイメージ」について
P1の(用語の定義)について

○「保育」についても「子育て」や「教育」と共に、例えば児童福祉法の定義による説
明記載は必要ではないか。

前回の子ども・子育て会議(第4回)別添「調査票のイメージ」について
P7問15-1及びP9問16の項目記載について

○ 同設問の項目の構成については、現状の子どもとその家庭が利用している施設割合
や実態等に鑑みた記載順にすることが適当ではないか。

前回の子ども・子育て会議(第4回)別添「調査票のイメージ」について
P5各設問の「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の記載について

○ この記載はあくまで利用者に向けた調査票項目の説明ではあるが、先の資料2「保育
の必要性の認定について」(H25.7.5)P8以降の「長時間」・「短時間」の区分についての
検討との関連も考えられることから、送迎、通勤時間を含み長時間(フルタイム)は
11時間を保障する必要があることは改めて触れておきたい。